

ラストホール

伊丹市南野字矢倉塚720-2
TEL: 0727-81-8877

● つくって遊ぼう
「ひよこりんアニマル」

10月18日(日) 10:00~12:00

参加料/1500円(材料費含む)

講師/ハンド101ものづくり教育協議会

青木 宏子

定員/30名

会場/1F学習室

今回からスタートする、ものづくりを基本としたワークショップ。最近少なくなってきた、何かを作り出す喜びを実感しましょう。1回目は転がる動きを利用した、ちょっとびっくりの楽しい玩具を作ります。毎回どんなものができるのか、またその遊び方を工夫するのも楽しみです。

※2回目は12月12日(土)の予定です。

●懐かしの鉄道模型展

11月21日(土)~23日(祝)

9:00~17:00

会場/1Fエントランスホール

子どもの頃にわくわくしながら乗った…そんな懐かしい思い出の手作り列車がラストホールを走ります。



●花連紡 香川明子創作展
想花「魔法にかかったクリスマス」

12月16日(水)~23日(祝)

会場/1Fエントランスホール

花連紡主宰香川明子さんによる、今までのアートフラワー(造花)のイメージを打ち破る立体感のある作品展です。幻想的で、とても不思議なクリスマス(?)はいかがですか。

私・空・感 another time another place

出 津村卓/アイホール プロデューサー

お盆が終わると、子どものいる家では「夏休みの宿題」へのラストスパートの時期が訪れる。そのなかで、普段はファミコンやマンガに夢中で、手にすることのない文字が主体となる本、いわゆる文学書との年いち度の出会いがある。もちろんわが家もその例に漏れることはない。子どもを見ていると、どうも活字が並ぶ本は難しいとか、読むのは大変だという観念があるようだ。読むのにルール通りでなければ点数が悪くなる教科書を見る目のようで、前へ進む様子がない。

先日、アイホールで行ったこどものための演劇ワークショップ「元気!えんげき」で見た、子どもたちの目の光とはずいぶんかけ離れたものがある。

そういう私も、クラシック音楽に対して子どもたちの本と同じような気持ちでいた。が、ここ3年間続いている「伸道郁代の音楽学校」という仕事でピアニストの伸道さんや、カザルスホールのプロデューサーの児玉さんたちから、クラシック音楽の面白さを教わったばかりである。

出会いや面白さを伝えることはむずかしい。でもとりあえず今、子どもたちにしてやれることを考えてみたい。



会

い

11月27日(金) 19:00

2500円 (3000円)

*1ドリンク付

●伊丹シティフィル
ハーモニー管弦楽団

『名曲コンサートvol.8』

'99年1月15日(祝) 14:00

一般 1000円 高校生以下 500円

伊丹市に本拠をおくプロ・アマ混

成のオーケストラ、伊丹シティフィルハーモニー。今回“名曲中の名曲”といわれる、シューベルト作曲/交響曲第7番「未完成」、そしてドヴォルジャーク作曲/交響曲第9番「新世界より」をお送りいたします。プロにひけを取らない技術と、プロでは味わえないアマチュアならではの熱気を充分御堪能下さい。

アイホール

伊丹市伊丹2-4-1

TEL: 0727-82-2000

●提携公演
MONO

『その鉄塔に男たちはいるという』

毎年、世界的な演劇祭が開催される

富山県利賀村で新たに始まった

「新緑フェスティバル」に、今年初めて、

関西からMONOが招待されました。独特の笑いとペース

溢れる舞台は、関西以外の観客にも

共感を得て大好評を博し、今後の活躍がますます期待されています。

そんな彼らの新作は、初めて男優

陣だけが出演する男芝居。

ある戦争中の出来事、鉄塔の上に

組まれたやぐらの中に立てこもる

男たち。闘うことをやめると決意

した彼らは…。

巧妙な会話に加え、今回は動きにも

力を入れるという。男臭さには

縁遠い、MONO会心の一作。

12月10日(木)19:30

11日(金)19:30

12日(土)15:00/19:30

13日(日)13:00/17:00

2300円(2500円)



『きゅうりの花』(98年6月) 撮影・松本謙一郎

アイテム'98 vol.5(通巻8号)

1998年10月1日発行

発行●(財)伊丹市文化振興財団

〒664-0865伊丹市南野字矢倉塚720-2

TEL: 0727-81-8877 FAX: 0727-81-9292

編集●アイテム編集委員会

デザイン●AIRS

※次号アイテム'99vol.6は1月に発行予定

※文中の料金は、前売料金。()内は当日料金です。

アイテム'98 vol.5 文化情報紙 (財)伊丹市文化振興財団

アイホール

ラストホール

伊丹アイフォニックホール

AI・HALL 10周年企画
北村想の宇宙

アイホールは今年10周年を迎えます。

柿落とし公演の「寿歌」以来この10年間、アイホールは

劇作家・北村想さんと深い関わりをもってきました。

そこで10周年記念事業として、関西の演劇人による北村想作品の連続上演を行います。

アイホールの戯曲塾「伊丹想流私塾」で想さんと共にスタッフとして参加している、

「199Q太陽族」の岩崎正裕さんと「桃園会」の深津篤史さんに

想さんについて、参加の抱負について語っていただきました。



岩崎正裕●63年生まれ。劇作家・演出家。199Q太陽族主宰。昨年「ここからは遠い国」で第4回OMS戯曲賞受賞。

ー「難解」「わからない」は演劇おきまりの常套句。彼の人にもその声は当たり前にあります。

岩崎●そういう意味で言うと、想さんの初期というか、80年代の前半っていうのは、今の作品と比べると「わからなさ」っていうのがあるかもしれない。それは時代の空気なんで…。想さんの引力っていうか、包容力ってのを、一緒に伊丹で戯曲塾の仕事させてもらって感じますね。いわゆる劇作家というのは、物凄く芸術家ってのが多いかと思ってたんだけど、想さんは実に気のつく町内会長って感じがするんですよ(笑)。よくみんなのことは見てはるね。我々に対してもすごい気を使ってくれるし、あと、塾生たちに目配りが行き届いてる。あれは劇作家・北村想じゃない部分やね。自治会長、町内会長・北村想って感じがするなあ。

深津●「引力」とかじゃないですね。

岩崎●いわゆる傲慢さで引きつける人じゃない。…カラオケはちょっと強引やね。

深津●まあね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

岩崎●テキ屋・北村想。

深津「女性やとばかり思ってたんですよ、なんとなくイメージで。なんか名前がきれいだし、お話がきれいなお話で…」

深津●あまね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

岩崎●あまね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

深津●あまね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

岩崎●あまね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

深津●あまね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

岩崎●あまね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

深津●あまね。上手やからいいけど。役者・北村想って感じがするなあ。

ー原爆の灰が美しく降る『寿歌』は彼の人の代表作。現在、多忙な劇作家の二人にはこんな話がありました。

深津●初めての作・演出は『寿歌』のバクリ。核戦争後の終末で。

岩崎●いっしょ、いっしょ。僕も処女作そうやから(笑)。オレなんか核戦争後で、おまけにリヤカーまで出てくんねんで。あかんっちゅーねん(笑)。

深津●うち、大阪弁でしたわ。



『寿歌』(79年初演) 戦後戯曲ベスト3に選ばれた不朽の名作。核戦争後の関西の地方都市をさすらう旅芸人の男女と一人の青年のお話。80年代の演劇人に多大な影響を与えた。アイホールでは柿落としの'88年と'96年(写真)に上演。

深津●想さんが以前、塾で仰ってた話で、お芝居は基本的に二人芝居と三人芝居の組み合わせだ。それが絡んだり、交錯したりする。

基本は「二」と「三」しかない。で、今思えば僕の処女作は、『寿歌』の主人公がいてヒロインがいて、そこに異物が一人入ってきて、

という関係の劇というのに、非常に影響されたと思います。いちばん勉強したのは劇構造の作り方かな。

深津●「二」と「三」しかない。で、今思えば僕の処女作は、『寿歌』の主人公がいてヒロインがいて、そこに異物が一人入ってきて、

という関係の劇というのに、非常に影響されたと思います。いちばん勉強したのは劇構造の作り方かな。

深津●「二」と「三」しかない。で、今思えば僕の処女作は、『寿歌』の主人公がいてヒロインがいて、そこに異物が一人入ってきて、

という関係の劇というのに、非常に影響されたと思います。いちばん勉強したのは劇構造の作り方かな。

深津●「二」と「三」しかない。で、今思えば僕の処女作は、『寿歌』の主人公がいてヒロインがいて、そこに異物が一人入ってきて、

という関係の劇というのに、非常に影響されたと思います。いちばん勉強したのは劇構造の作り方かな。

伊丹アイフォニックホール

伊丹市宮ノ前1-3-30

TEL: 0727-80-2110

●ロビーコンサートvol.12
『誘い歌』

♪泣きなさい 笑いなさい♪

多くの人の心をとらえた曲「花」。

さまざまなアーティストがカヴァ

ーした中であって、ひととき強い印象を残したおおたか静流。ことばや時空を軽々と飛び越える彼女の歌には、力強さやひろがりが見え隠れなく秘められています。肩の力を抜いて、歌に誘われるままにここちよい時間を過ごしてみたいかがでしょうか。

<出演>おおたか静流

内橋和久

■文化会館設立準備室からのお知らせ

11月3日にオープンする伊丹市立文化会館「いたみホール」の催しをご案内します。

11月

●3日(祝) 開館記念公演

開演 18:30

モーツァルトピアノ協奏曲 第26番「戴冠式」

ピアノ: 柴山 直子

カール・オルフ「カルミナプラナ」

演奏: 伊丹シティフィルハーモニー

入場無料 要整理券

●8日(日) 伊丹ハッピーフェスティバル

<市民芸能の集い>

開演 10:00 終演 17:00

歌あり、踊りあり、寸劇あり、市民参加の楽しい舞台です

●15日(日)~23日(月) 郷土作家展

伊丹市在住の画家、彫刻家、工芸家、書家、写真家による 展覧会

●19日(木) ダ・カーポ コンサート

開演 18:30

全席指定 4500円

チケットぴあ、チケットセゾン、ローソン

チケットで発売中

●20日(金) 文芸春秋講演会

開演 19:00

入場無料 要整理券

平岩 弓枝 / 大沢 在昌

演目 平岩弓枝~私の取材ノートより~

大沢在昌~ミステリーと私~

●28日(土) 石川さゆり コンサート

開演 14:00 / 18:00 [2回公演]

各回全席指定 S席/6000円 A席/5500円

チケットぴあ、ローソンチケットで発売中

12月

●9日(水) 葉加瀬太郎 アコースティックライブ

開演 19:00

10/17 10時よりいたみホール、チケット

ぴあ、ローソンチケットで発売

●12日(土) 伊丹市吹奏楽団 定期演奏会

開演 18:30

※催し物の詳しい内容については「いたみホール」までお問い合わせください。

☎0727-87-8788

AI・HALL 10周年企画
「北村想の宇宙」参加プログラム

AI・HALL 自主企画vol.97
●プロジェクト・ナビ
「砂と星のあいだに」
作・演出／北村想



10月17日(土)15:00/19:00
18日(日)14:00
3000円(3300円) 中高生 2000円
全席指定
◎取扱 AI・HALL チケットぴあ

AI・HALL 協力公演
●大阪新撰組

「寿歌西へ」
作／北村想 演出／当麻英始
10月23日(金)19:30
24日(土)15:00/19:30
25日(日)15:00
2000円(2500円)
◎取扱 チケットぴあ

AI・HALL 協力公演
●劇団びっくりポケット

& 劇団 2 年 6 組山田学級
「HELLO!こちらウォーキンポスト 私の青空!」
作／北村想 演出／谷本幸志郎
総指揮／播州力
11月13日(金)19:00
14日(土)15:00/19:00
15日(日)15:00
2000円(2300円) 中高生 1500円
◎取扱 チケットぴあ

●桃園会

「屋上のひと」
作／北村想 演出／深津篤史
11月20日(金)19:30
21日(土)15:00/19:00
22日(日)15:00
2300円(2500円)
ヘア4000円(前売のみ取扱)
中高生 1800円
◎取扱 チケットぴあ

5演目前売セット券

11000円(アイホールでのみ取扱)
●プロジェクト・ナビ
●199Q太陽族 ●桃園会
●転球劇場 ●プロデュース.10

AI・HALL
DANCE COLLECTION
VOL.16

イデビアン・クルー
『ウソツキ』

アイホール

主宰の井手茂太がダンス専門学校のクラスメートたちと共に'91年に旗揚げしたイデビアン・クルー。当初から海外のフェスティバルで、審査員及び観客から圧倒的な支持を得て、観客賞第一位を獲得。今年7月にはヨーロッパツアーを行い、フランスのアヴィニオン国際演劇祭に参加するなど、国内だけにとどまらず活躍するダンスカンパニーです。

バレエ、モダン、ジャズ、ヒップホップなどの既成のダンステクニックに飽き足らず、日常生活の中こそ存在する動きなどを研究し、独自の世界を創作します。舞台上でダンサーたちは男女を問

●199Q太陽族

「虎☆ハリマオ」
作／北村想 演出／岩崎正裕
11月27日(金)19:30
28日(土)15:00/19:30
29日(日)15:00
3000円(3300円)
学生 2500円 中高生 2000円
※学生・中高生は当日のみ整理番号付自由席
◎取扱 チケットぴあ

●転球劇場

「あ・ほーまんす」
原作／北村想 構成／転球劇場
12月4日(金)19:30
5日(土)15:00/19:00
6日(日)15:00
2500円(2800円)
◎取扱 チケットぴあ

●プロデュース. 10

「DUCK SOAP」
作／北村想 演出／東野博昭
'99年1月29日(金)19:00
30日(土)15:00/19:00
31日(日)15:00
2800円(3000円)
中高生 2000円(前売・当日共)
整理番号付自由席
◎取扱 AI・HALL チケットぴあ



わず、黒のレオタードの上から、お尻に筆文字で名字を書いたブリーフを着用。ユニークなダンスは、一人ひとりダンサーの体型、くせ、趣味、好きなスポーツから生みだされます。日々の暮らしの中で、心くすぐられる動きや仕草から、人々の生活のおかしさや、おかしいゆえの悲しさをコミカルに描きます。今回の作品『ウソツキ』は、嘘に隔てられた人と人の、はかなく、切ない関係表現します。次世代を担う、新進気鋭のダンスをお見逃しなく。

10月30日(金) 19:30
31日(土) 14:00
3000円(3300円)

井手茂太によるワークショップ
11月1日(日) 14:00~16:00
受講料：3000円(要予約)

AI・HALL提携公演

青年団プロデュース
『新版・小町風伝』

アイホール

90年代を代表する劇団である青年団。その主宰者で、現代演劇の新しい論客と呼び名の高い平田オリザが、昨年の「マッチ売りの少女たち」(原作・別役実)に続き、名作戯曲のリメイクに挑みます。世界的にもその舞台が高く評価された転形劇場(’88年解散)を率いた太田省吾の代表作『小町風伝』は、



「マッチ売りの少女たち」(’97年10月) 撮影・齋田創

アイフォニック民族文化サロン
“話題の地球儀” NO.66

『微生物が
音楽を聴く』

伊丹アイフォニックホール

<講師>西岡信雄
(大阪音楽大学学長)

近年、人類以外の“音楽ファン”が急増中です。中でも、キノコ菌や、日本酒・ワイン・パンなどの発酵に活躍する酵母菌は、音楽を聴くと元気になることが実証されています。しかも菌によって好きな曲のジャンルが違うとかいた吟醸酒…。知られざる音楽ファンの実態をのぞいてみませんか。
10月26日(月) 19:00~20:30
1500円(要電話予約)
会場/小ホール1



モーツァルトを聴いた吟醸酒

終始、無言のままの老婆の前に、彼女の幻想が現れては去るといふ、沈黙劇の記念碑的作品として現代演劇史にその名をとどめます。今回、平田オリザはそこに「新版」と銘打って、小説や詩を原作・モチーフにするように、戯曲をモチーフにして全く新しい戯曲作品を創りあげます。また、青年団の役者に加え、名古屋のプロジェクト・ナビの佳梯かこ、花組芝居の佐藤誓らを客演に迎え、加えて全国からオーディションで選抜された役者も合わせて、総勢23名が出演し、劇場には巨大な迷宮のようなアパートが出現するという大がかりな作品となります。乞うご期待!

10月9日(金)19:30
10日(土)15:00/19:00
11日(日)15:00
3000円(3500円)
学生 2500円
高校生以下 2000円

アイフォニック
地球音楽シリーズ NO. 57

『ザルツブルク・
マリオネット劇場
くるみ割り人形』

伊丹アイフォニックホール

<出演>ザルツブルク・
マリオネット劇場

オーストリア中部、ドイツとの国境に程近いザルツブルク。清流ザルツァハハ河の両岸に広がる美しいこの街は、古代ローマ時代から岩塩の産地として発展し、その繁栄ぶりから「塩の城」を意味する“ザルツブルク”が街の名前となっ



HIROSHI(吉田 洋)
ピアノライブ

ラストホール

11月15日(日) 14:00
一般 2500円(3000円)
高校生以下及60歳以上
2000円(2400円)
クラシックをベースとしながらも、ロックから時には演歌まで、ジャンルの垣根を超越して独自のスタイルで繰り広げられる新ピアノ・エンターテインメント。変化に富んだメドレーから、ちょっぴり辛口のバラディ右手でクラシック左手でポップスの同時演奏等、奇想天外な編曲物をはじめ、オーケストラ作品やロックの名曲のソロピアノ版、センシティブでメロディアスなオリジナル作品など、軽



たほです。そのザルツブルクにあり、「オーストリアの宝宝箱」といわれているのが1913年に創立された、ザルツブルク・マリオネット劇場です。この劇場では、背丈が1メートル程もあるマリオネット達が人形遣いによって命を吹き込まれ、様々なオペラやバレエを本物さながらの迫力で演じていきます。今回は、ザルツブルク・マリオネット劇場「くるみ割り人形」の引っ越し公演となり、本場の雰囲気そのまま味わっていただけます。100種類以上のマリオネットが繰り広げるメルヘンの世界へ、主人公クララと一緒に旅してみませんか。
12月1日(火) 19:00
一般 3000円
学生 2000円
(500円UP)*全席自由
*当公演はアイフォニック民族文化サロンNo.67と連動しています。

快なトークと共に異色ピアニスト HIROSHIの個性的なステージをお楽しみください。「タモリの音楽は世界だ」「SMA P X SMA P」「おはようクジラ」等に出演。
<演奏曲目>
◆愛の挨拶/エルガー
◆迷子の迷子の小猫ちゃん踏んじやった
◆HIROSHIの即席アレンジ講座
◆都はるみの主題によるショパ



アイフォニック民族文化サロン
“話題の地球儀” NO.67

『マリオネット
愛らしい芸術家たち』

伊丹アイフォニックホール

<講師>グレートル・アイヒャー
(ザルツブルク・マリオネット劇場総監督)

世界最高の人形劇を上演するザルツブルク・マリオネット劇場。人形たちが演じる華麗なバレエやオペラは、高い芸術性と無限の想像力でわれわれを夢の世界へと誘い



ン、ん?
◆アイネ・クライネ・スーダラムジーク
◆オリジナル曲「50年目のラブレター」
◆リクエストによる即興メドレー
◆美空ひばりの主題による5つの楽章(愛燦爛・リンゴ追分・悲しい酒・お祭りマンボ・川の流れるように) 他

ます。その華やかな舞台の裏では、人形遣いたちの熟練した技が繰り広げられ、彼らの惜しみない情熱があふれています。愛すべき芸術家たちの魅力を舞台裏から語ります。
11月30日(月) 19:00~20:30
1500円(要電話予約)
会場/小ホール1*通訳あり

アイフォニック民族文化サロン
“話題の地球儀” NO.68

『アンデスの
くらしと音楽』

伊丹アイフォニックホール

<講師>瀬戸慎子

(広島市立大学国際学研究所)
森林限界を越える高原地帯のきびしい環境を克服し、農耕文化はぐくんだアンデスのひとびと。じゃがいもを凍結加工した「チューニョ」も、かれらのくらしの知恵のひとつ。そんな自然やくらしと音楽との関係をさぐります。
'99年1月11日(月)
19:00~20:30
1500円(要電話予約)
会場/小ホール1



Map showing the location of AI Hall and Last Hall in Itoya. Includes addresses, phone numbers, and directions from nearby stations and landmarks.